

電子・物理工学専攻オリエンテーション -2012 年 4 月入学者向け-

日時：4 月 9 日（月） 15：30～

場所：3A306

1. 前期課程（修士）修了要件：修了に必要な単位としてカウントできる科目※の中から 30 単位以上取得し、修士論文審査に合格すること。大学院便覧 p 270

必修科目：

@ 数理物質科学コロキウム(B1) 1 単位（1 学期木曜 6 時限）大学院便覧 p 238
（指導教員が認めた場合、「Science in Japan I」に置き換え可能）

@ 特別研究(電子・物理工学、光・電子ナノ材料) I, II (D1)

各 6 単位（電子・物理工学専攻大学院セミナーを含む）。

注意：特別研究 I（1 年生用）および特別研究 II（2 年生用）の単位は電子・物理工学専攻大学院セミナー（後述）と研究室における研究活動の指導教員の評価を合わせて評価する。大学院便覧 p 268

@ 物材コースのみ「ナノ材料工学特論 II」 1 単位

@ 基礎科目(A1)を 6 単位以上履修すること。(9 単位程度履修することを勧める。6 単位を超過した分は選択科目として修了要件に加えることができる。)

大学院便覧 p 266

@ 選択科目(Q1)：11 単位以上（物材コースは 10 単位以上）

修了に必要な単位としてカウントできる科目※から選択

※修了に必要な単位としてカウントできる科目：原則として、電子・物理工学専攻の開講科目（大学院便覧 p 266～269）。他専攻、他研究科、共通科目については下記、「3. 履修上の注意」を参照

2. 後期課程修了要件

@ 後期課程は（電子・物理工学）特別研究Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ各 6 単位が必修。院便覧 p 300
後期課程 1 年生(早期修了プログラム該当者を含む)は特別研究Ⅲを申請すること。
早期修了該当者は、修了が確実となった段階でⅣ，Ⅴを追加申請する。

3. 履修上の注意（前期・後期）

@ （前期）修了のための単位として他専攻、他研究科、共通科目の単位：最大 10 単位
まで認められるが、履修申請する際に指導教員や学務委員の許可が必要。

様式は 3F600 の工学系専攻事務室（大山さん）で配付する。

@ （前期）実習実験系授業と共通科目の修了要件への加算には制限がある。

大学院共通科目、本研究科の共通基礎科目、専攻の専門科目「電子・物理工学インターンシップ I、II」については計 3 単位までを修了要件として認める。ただし「大学院体育関係科目」は修了要件には入れない。

@ 修了要件以上の単位数を取得することや要件外の科目を受講しても問題はない。

@ 電子・物理工学特別研究は該当する年度のものだけを履修申請すること。

@ 履修申請は TWINS を使う。申請可能期間を過ぎた場合は窓口対応となる。

@ 履修上の注意は専攻 WEB の【大学院学務】にも掲載する。

<http://www.bk.tsukuba.ac.jp/affair.html>

4. **掲示板**：奨学金、集中講義の開講、休講、就職等の案内は数理物質科学支援室前掲示板、F棟6階掲示板で案内するので必ず毎日見ること。
5. **E-mail アドレスの登録**：科目履修、修士・博士論文作成要領等の重要な連絡は、E-mail も使って行うので、**各自のメールアドレスを事務室に登録すること**
登録連絡先： gakumu6f@bk.tsukuba.ac.jp 工学系専攻事務室 大山さん
件名:アドレス とすること。 氏名、専攻名、学籍番号を書くこと。
さらに、**TWINS** にも現住所情報を登録すること(緊急時における安否確認、情報提供)
6. **電子・物理工学専攻大学院セミナー（必修）**：毎週木曜日第3時限
4月下旬から開始予定。後期2年、後期1年、修士2年、修士1年の順で発表する。
開催要領と発表順は後日、メールで配布するので、ルールをよく読んでおくこと。
大学院セミナーでは①**予稿を準備して、発表を行い**、②**質問票に対するレポートを提出**、
③**出席**、④**前半後半各1回以上質問すること**、すべてが合格の必要条件である。出席や質問が規定より少ない場合には評価は低くなる。基準と特別研究の評価の関係を下記に示すが、詳しくは、後日配付する大学院セミナーの開催要項を参照のこと。
 - 1) **発表、レポートの提出**がないと不合格
 - 2) **出席**：70%以上で合格、80%以下でA以外の評価となる。
学会、外部実験、留学など大学を離れての研究活動で出席できない場合は、事前に欠席届を提出することにより出席扱いとする。就職活動は原則欠席届を認めない。
 - 3) **質問**：前半（博士および修士2年の発表）と後半（修士1年の発表）でそれぞれ1回以上の質問を行う。これが満たされない場合はA以外の評価となる。
 - 4) 後期学生については発表のみを課す。
7. **奨学金返済免除と研究科長表彰**：学生支援機構の**奨学金I種受給者**の約30%が学業成績評価により全額あるいは半額の返還免除となる。修了時の研究科長表彰も含め、学会発表や論文発表などが審査の対象となる。
8. **相談窓口**：指導教員に相談しにくい悩み事などは、相談委員（白木）、学務委員（佐々木）、専攻長（伊藤）および副指導教員が対応するので早めに相談すること。
9. **インターンシップ、研究留学**に関心がある場合は学務委員(佐々木)、専攻長（伊藤）まで。
インターンシップを希望する場合は、WEBより説明・申込書をダウンロードして下さい。
10. **博士進学について**：後期課程では、学生支援機構の奨学金が受けられるのに加え、授業料の半額程度のRA（研究補佐）経費の経済的援助が受けられます。
11. **連絡先**：専攻長：伊藤雅英（3F719, 内 4966, itoh@bk.tsukuba.ac.jp）
6階事務室：大山由美（3F600, 内 5443, gakumu6f@bk.tsukuba.ac.jp）
学務委員：佐々木正洋（3F724, 内 5331, sasaki@bk.tsukuba.ac.jp）
相談委員：白木賢太郎（3F732, 内 5306, shiraki@bk.tsukuba.ac.jp）